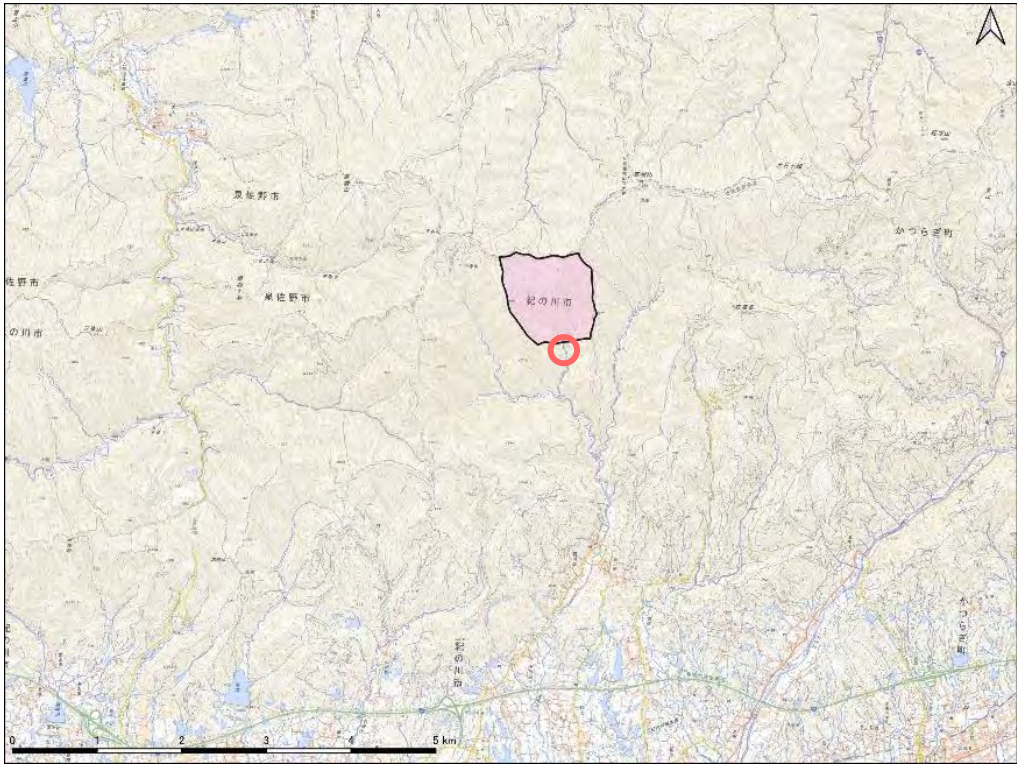


2.和歌山県-①.那賀郡粉河町

(1) 概要

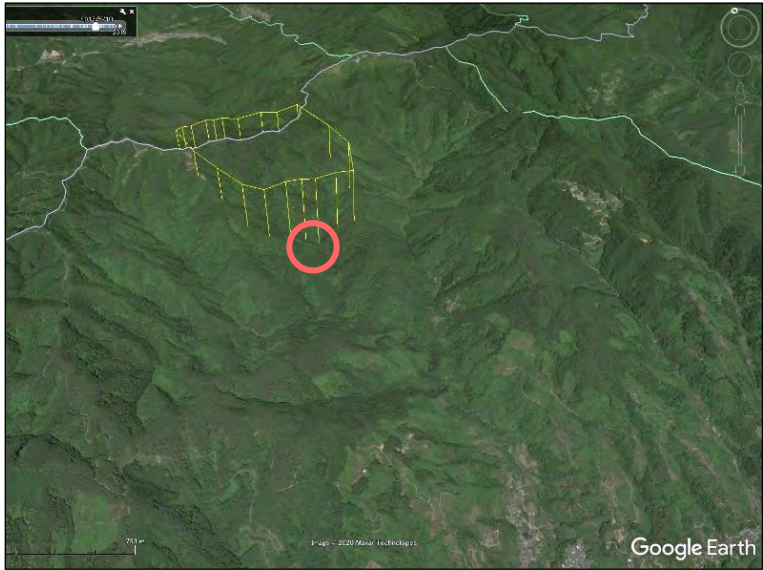


施工地の位置図

平成5年度水質保全特別対策治山事業にて施工された施設。紀の川流域中津川上流域の本流と支流の合流部(集水面積97.5ha)に治山ダムが配置され、放水路に簡易水道施設へ導水する取水口が設置されている。

本流と支流それぞれに施設が施工され、用水取水保全タイプの濁質発生域における透過型施設として区分した。

受益対象の集落まで距離があり、本水源は現在利用されていない。なお、本流施設の集水面積は51.4ha、支流は46.1haである。



集水域の鳥瞰イメージ



平面図

2.和歌山県-①.那賀郡粉河町

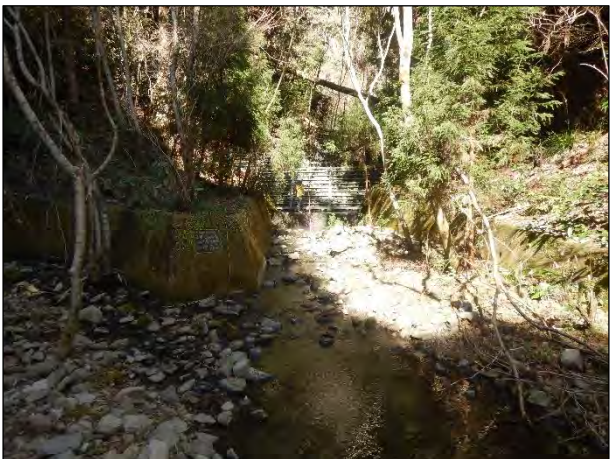
(2) 保全対象・下流状況



合流部の治山ダム放水路に取水口あり



治山ダム堆砂敷から合流部本流側



治山ダム堆砂敷から合流部支流側



作業道沿いの簡易水道施設(活用されていない)



下流域は有効高8m以上の治山ダムが連続する

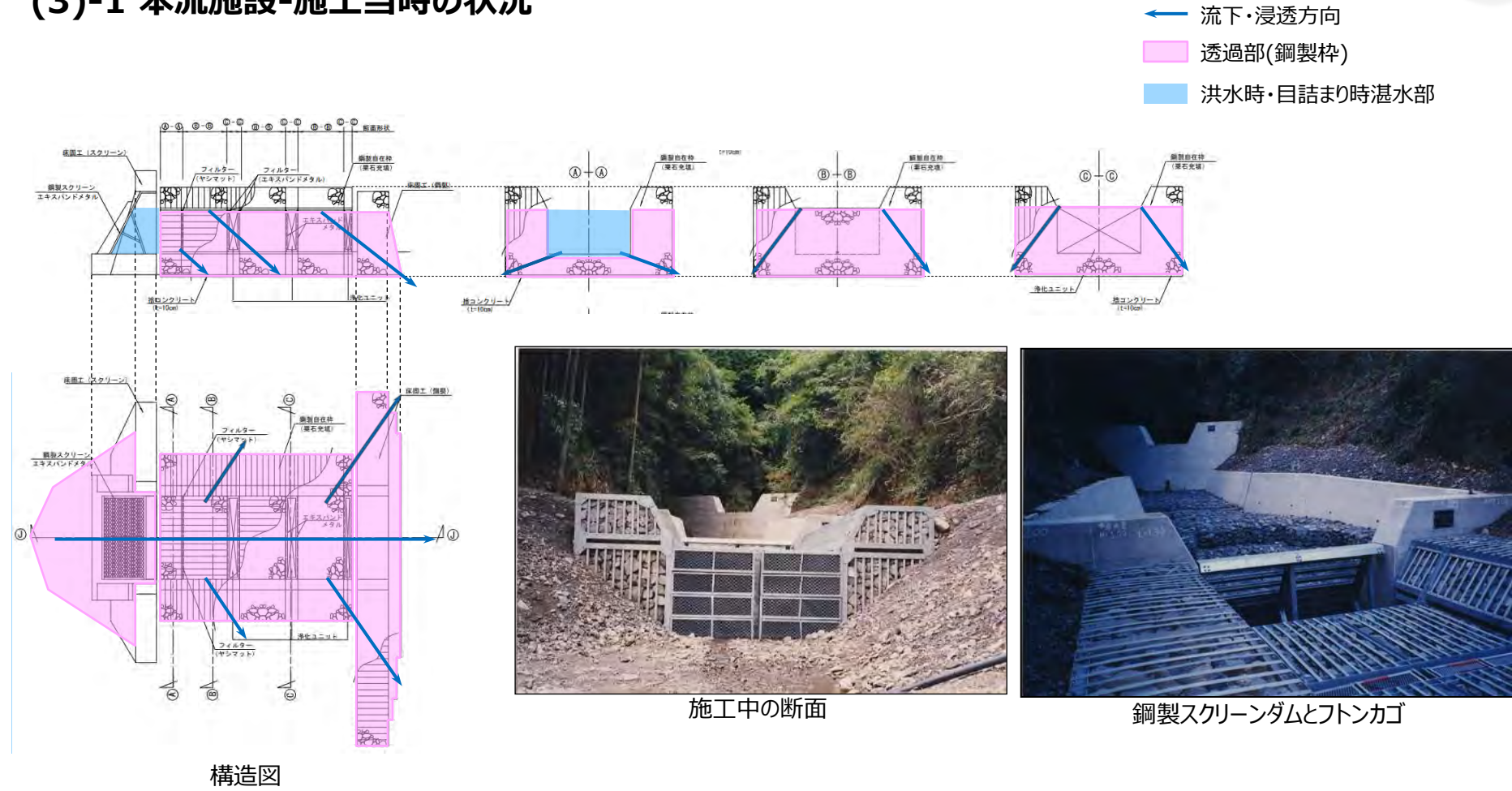


作業道は崩落により車両の通行は不能

合流点の治山ダムの放水路に取水口が設置され、下流右岸に簡易水道施設が設置されている。本流は床固工施工域、支流は谷止工施工域に該当する。いずれの溪流も上流部にコンクリート谷止工が施工され、土砂の流出が抑止されている。

2.和歌山県-①.那賀郡粉河町

(3)-1 本流施設-施工当時の状況



計画勾配0%の配置。渓流水は湛水することなく、鋼製枠上面から下面に透過する構造となっている。2面張流路を水平方向に移動して石礫→エキスパンドメタル→鋼材(木炭浄化フィルタ)を透過する構造。洪水時は施設の表面を流下する。

2.和歌山県-①.那賀郡粉河町

(3)-2 本流施設-現地調査結果



下流流路工から水質保全施設方向



水質保全施設の流路



石礫の閉塞(表流水なし)



鋼製スクリーンダム直下の土砂堆積(表流水なし)



表流部の石礫堆積



水質保全施設袖部の石礫充填状況

2m間隔で0.5mの落差を階段状に配置し、溪床勾配に合わせ渓流水をフィルターに透過。平水時に表流水を透過する構造であるが、表面部の石礫が閉塞し、表流水が浸透しなくなるまで機能を発揮すると想定される。